

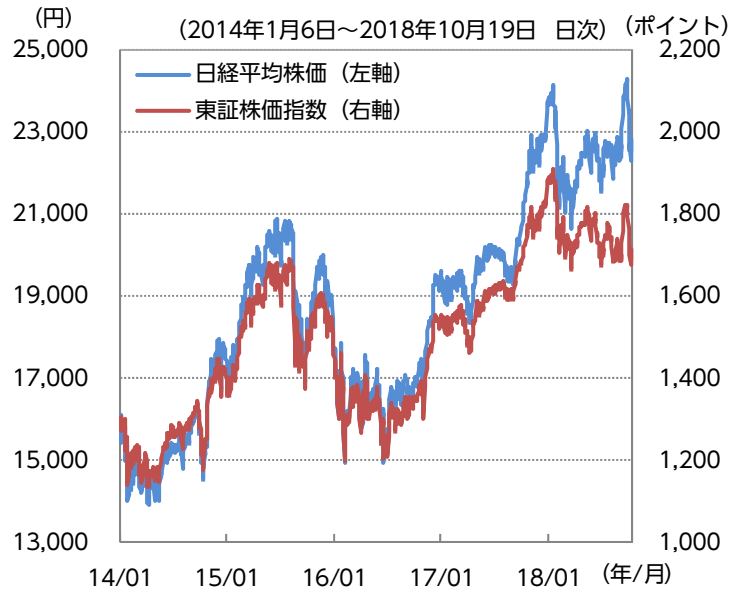
週間市場レポート

(2018年10月15日～10月19日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

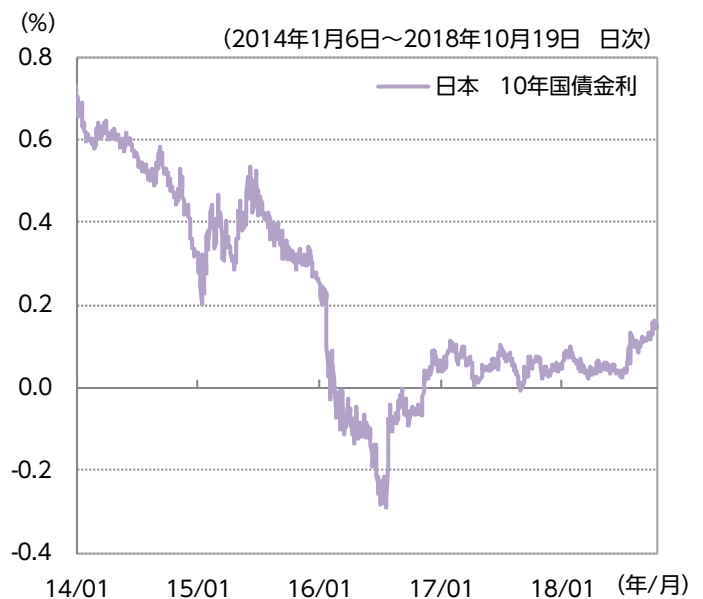
- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落となりました。週初は、米財務長官が日本に対し通貨安誘導を封じる為替条項を求める考えを示したことから輸出関連株を中心に売りが優勢となり、大幅に下落しました。その後は短期的な戻りを狙った個人投資家の買いと米株高を受け上昇する場面もあったものの、週末は中国の景気減速懸念等から下落となりました。（週末引け値：22,532.08円）
- 週間では、日経平均株価は0.72%の下落、東証株価指数は0.56%の下落でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。日経平均株価の動きを受け、週を通じて一進一退の展開となりました。（週末引け値：0.149%）
- 週間では、0.001%の低下となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。前週の大幅下落が意識されている中、強弱入り混じる企業決算内容を背景に、一進一退の展開となりました。（週末引け値：25,444.34ドル）
- 週間ではNYダウは0.41%の上昇となりました。

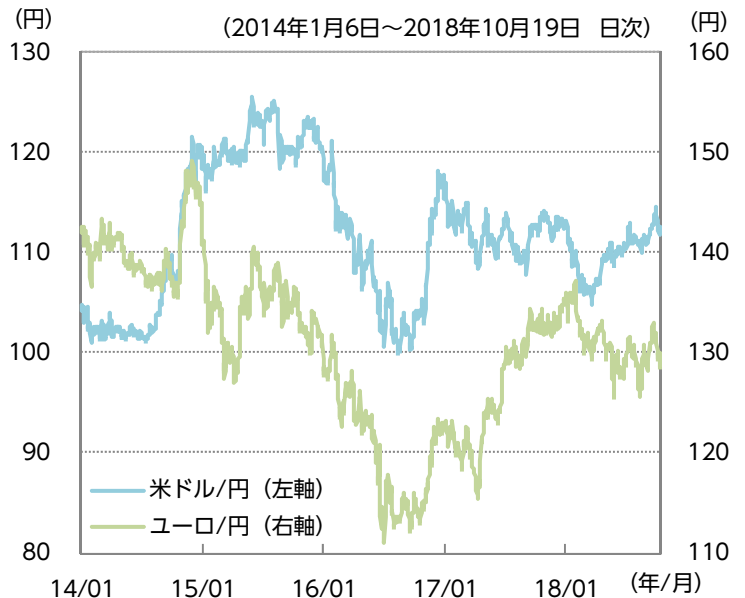


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。米財務長官が日本に対し通貨安誘導を封じる為替条項を求める考えを示したことなどを受け、週初はリスク回避目的の円買い米ドル売りが優勢となりました。週中は、日米金利差拡大期待から円売り米ドル買いが優勢となったものの、週末は中国経済の先行き不透明感などを背景に、円買い米ドル売りが優勢となりました。（週末引け値：112円50銭～60銭）
- 週間では米ドル/円は0.30%の円安、ユーロ/円は0.08%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>